

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和8年度朝霞市立朝霞第六小学校第3回学校運営協議会	
開催日時	令和8年8月21日（金）13時15分～14時50分	
開催場所	朝霞市立朝霞第六小学校2階多目的室	
出席者の職・氏名	学校運営協議会委員6名 小島 孝之（校長） 前田 敏 相澤 めぐみ 飯倉 康祐 小野 諒子 渡邊 聡 朝霞第六小学校教員43名 事務局3名 高木 智（教頭） 越後 広栄（教頭） 篠崎 宏美（主幹教諭）	
欠席者の職・氏名	学校運営協議会委員・金子 タ介 1名	
議題	1 「ウェルビーイングの視点」「地域とともにある学校づくり」を視野に入れた学校の在り方 2 その他	
会議資料	・第3回学校運営協議会レジュメ ・学校職員との情報交換会グループ分け表 ・第4回以降学校運営協議会の開催について	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 校長・教頭による確認	
傍聴者の数	9人	
その他の必要事項	特になし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

☆ 学校長あいさつ

○学校長

- ・ 1年に1回の学校運営協議会委員の皆様と職員との学校運営に関する意見交換の場であるため、同じ目線に立って活発な熟議を期待したい。
- ・ 今年度はこれまでの2回の学校運営協議会において、地域とともにある学校づくりをどのようにしていけばよいか、すやすやタイムの導入についてもご意見をいただいている。
- ・ 地域の中で育てる子供という視点に立って、地域と学校がお互いWINWINの関係づくりをしたい。

1 「ウェルビーイングの視点」「地域とともにある学校づくり」を視野に入れた学校の在り方（グループ協議）

○グループA

- ・ 書き初め展について、自由に子供が決めた文字を書くのがよい。
- ・ 地域を活用してもらいたい。
- ・ 教員の働き方改革について、特に時間外の保護者からの要望等への対応は、線引きをしてもらいたい。
- ・ 欠席した際の連絡はあった方がよい。
- ・ 不登校対策について、小中の連携が必要である。（中学校とのさわやか相談室との連携）

○グループB

- ・ 読み聞かせについて、子供が喜ぶ。本離れが顕著であるため、今後も継続して本好きな児童を育てていきたい。
- ・ 他校の学校応援団の活動も参考にしたい。
- ・ 学校応援団との連携について、いつ、どのぐらいの人数が来校するかよりわかりやすい方法を模索していく。

○グループC

- ・ 総合的な学習の時間における外部講師については、情報提供してもらえたら時間はかかるがつけられる可能性があるので、積極的に頼ってもらいたい。
- ・ 市に人材バンクがあるので、それを利用する。
- ・ 教員に対してのデメリットな面だけが溢れている世の中だが、子供に教員の魅力を伝えてもらう機会を設定してもらえれば、教師と子供、家庭との信頼関係を構築できるのではないかと考える。

○グループD

- ・ 本校は学校応援団の活動が素晴らしい。
- ・ 中学校でも総合的な学習の時間でリーダーシップを取って活躍している卒業生がいる。
- ・ あさかの森プレーパークは子供の居場所になるのもっと活用してもらいたい。
- ・ 学校応援団との連携する際の準備ややりとりの機会を増やす。予め児童の情報を知っておいてもらいたい。

○グループE

- ・地域との連携について、地域の方々の見守り、商店街との連携をさらに進めていくのがよい。
- ・朝の登校しぶりについて、もっと学校と地域が連携して対応していくべきである。
- ・児童の作品を街に積極的に貼る機会を設定した方がよい。
- ・学校は町内会からの要望を聞く機会を設け、学校運営に活かしていきたい。

2 その他

○教頭

- ・第4回学校運営協議会について、12月16日9時から行うことを確認。

○校長

- ・昨年度よりも充実した話し合いが行われてよかった。
- ・本日熟議いただいたことを今後の学校運営に活かして参りたい。
- ・11月28日（土）に今年度のふれあいまつりを実施する予定である。